

東海道五十三次の51番目の宿場町 豊かな自然に囲まれた石部をのんびり歩く

滋賀県の湖南に位置する石部。
豊かな自然と由緒ある神社仏閣などの文化財が点在し、
四季折々の美しさを堪能しながらハイキングができる。



農地整備記念碑付近より見る棚田風景

石部名物 コレが人気の おみやげ

石部太鼓 たにぐちょうえいどう

石部を代表する銘菓「石部太鼓」は、吉御子神社と吉姫神社に古くから伝わる祭りばやしにちなんで作られたもなか。太鼓の形をした、あっさりとしたつぶ餡入りのもなかはいくらでも食べられそう。

石部太鼓 1個130円(税込)
 8時～19時 11月1日～3日(臨時休業あり)
 0748(77)2101 (2020年6月現在の情報です)

竹内酒造 たけうちしゅぞう

素材にこだわった伝統的手法で作られた竹内酒造のお酒は、蒸米から酵母づくり、仕込みに至るまで全て手作業。フレッシュでフルーティな日本酒が人気だ。

地酒 本醸造香の泉(極上辛口)(300ml)410円 他各種
 9時～18時 土・日曜日、祝日 0748(77)2001 (2020年6月現在の情報です)

見るコースで楽しめる **歳時記**

- 1月中旬 鬼走り(長寿寺)
- 5月1日 石部礼大祭(吉姫神社、吉御子神社)
- 7月23日 愛宕まつり
- 10月下旬 石部宿まつり(雨山文化運動公園)
- 11月中旬～12月上旬 湖南三山めぐり(常楽寺・長寿寺・善水寺)

ここにも寄りたい

南琵琶湖を一望
臥龍の森 がりゅうのもり

雨山文化運動公園内にある森で、龍が伏せた姿に見えることからこの名前がついた。標高280m、約4kmの手軽な山登りコースになっていて、頂上からは琵琶湖南湖が一望でき爽快な気分を味わえる。春には1,000本もの桜が咲きほこり、絶好の花見スポットになる。

0748(77)5400(雨山文化運動公園管理事務所)



おすすめスポットガイド SPOT GUIDE



東海道51番目の宿場
A 旧東海道の町並み
きゅうとうかいどうのまちなみ

「京立ち石部初泊まり」の言葉でも分かるように、京から江戸へ向かう旅人が最初に泊まる宿場町。魔除けのため、柱や戸袋を赤く塗る民家もあり、古き良き時代が感じられる。



厄除け、安産、交通安全のご利益あり
B 吉御子神社 よしみこじんじや

奈良時代後期、崇徳天皇時代の創建と伝わる。唐門の奥で鎮座する本殿は、幕末期に京都の上賀茂神社旧本殿を移築したもの。本書紹介のコース順でいくと最初に訪れる神社。ハイキングの無事をお祈りしよう。

境内拝観自由



園内に石部宿を再現
C 雨山文化運動公園
あめやまぶんかうんどうこうえん

雨山生活環境保全林や資料館、数多くの運動施設がある自然と文化のレジャーゾーン。

- 東海道石部宿歴史民俗資料館
東海道をはじめ、石部宿に関する資料を多数展示。
- 宿場の里 石部宿の旅籠(はたご)などを再現。

9時～16時30分(受付は16時まで、公園は入園終日可)
 大人350円、小人150円(2施設共通)
 4月曜日、祝日の翌日(土・日曜日は除く)、年末年始
 0748(77)5400 (2020年6月現在の情報です)



国宝の建築様式美に出合う
D 常楽寺 じょうらくじ

和銅年間(708～715)、良弁僧正(ろうべんそうじょう)が開基。南北朝時代初頭の本堂、室町時代の三重塔とともに国宝。秋には、色づく紅葉をバックに荘厳さが際立つ。湖南三山の天台古刹。

10時～15時頃 大人600円、中・高校生300円
 ※秋期「湖南三山めぐり」期間中以外の入山は要予約。
 0748(77)3089 (2020年6月現在の情報です)



丘陵にある健康&福祉ゾーン
E じゅらくの里 じゅらくのさと

風光明媚な広々とした芝生広場は、ひと休みに最適。陶芸体験なども楽しむことができる。

- 土の館 江戸時代より「湖東石部焼」の陶芸が盛ん。簡単な小皿や湯飲みなど、手軽に陶芸が楽しめる。
- 木工の館 恵まれた大自然のおかげで、間伐材を使っのての木工作品を作ることができる。

9時～17時 各施設により異なる。※詳細は問い合わせ。
 4月曜日、祝日・火曜日、年末年始
 0748(77)4694 (2020年6月現在の情報です)



悠遠なる時を感じて
F 長寿寺・白山神社 ちょうじゅじ・はくさんじんじや

長寿寺は常楽寺の西寺に対して東寺と呼ばれる。天平年間(729～749)に良弁僧正(ろうべんそうじょう)が創建。山門から本堂までの参道は、錦彩を彩る紅葉で有名。湖南三山の天台古刹。

9時～16時 大人600円、中・高校生300円
 0748(77)3813 (2020年6月現在の情報です)